

切っ子



学校目標 「自ら気づき 考え 実行する」子どもの育成

文責 菊池 典男

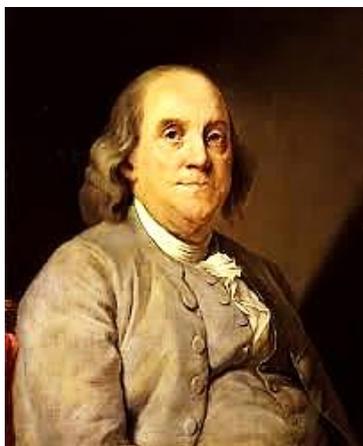
◆ 2学期がスタートしました！3つのことをがんばりましょう！

短い夏休みも終わり、8月24日から2学期がスタートしました。コロナウイルス感染者が毎日のように県内で確認されたり、全国ではここ1週間で熱中症の疑いで12,000人以上の方が病院へ搬送されたりと、元気いっぱい外で遊ぶのは難しい状況なので子どもたちのストレスが心配ですね。



さて、始業式では3つのことを話しました。

1つ目は、元気に「あいさつや返事」をできるようになることです。7月末に実施したアンケート調査では、元気にあいさつをしていると回答した児童が約50%、元気に返事をしていると回答した児童が約30%でした。どちらかといえばしていると回答した児童を含むと約90%の児童がしていると回答していることとなりますが、自信をもってしていると回答できる児童が増えてほしいなと思います。あいさつと返事は良好な人間関係を築く上で、とても大切なスキルなのでぜひ育てたいと思います。



2つ目は、「3つのそろえる」ができるようになることです。「名札、といだ鉛筆5本、宿題」を忘れずに準備して登校できるようになってほしいと思います。アメリカ合衆国の建国の父といわれるベンジャミン・フランクリンは「準備しないことによって、失敗をする準備をしている」という名言を残しています。また、日本にも事前準備の大切さを表す格言として「段取り8分、仕事2分」があります。事前にきちんと段取りさえしておけば、仕事の8割は完了したという意味です。どちらも、見通しをもって準備を怠らないことの大切を教えてください。7月末に実施したアンケート調査では「3つのそろえる」ができていると回答した児童が約53%、どちらかといえばできていると回答した児童を含むと約82%の児童がしていると回答していることとなりますが、自信をもって回答できる児童が増えてくれればと思います。

3つ目は、「自ら気づき、考え、行動できる」ことです。このことができる児童を育てるために、全ての教育活動で、「出番、役割、関わり、承認」を中心に据えて取り組んでいます。7月末に実施したアンケート調査では「自ら気づき行動できている」と回答した児童が約29%、どちらかといえばできていると回答した児童を含むと約76%の児童がしていると回答していることとなります。本校では様々な教育活動で、自分で決定する場を設け、決定した考えや行動を先生や友達との関わり合いの中で受け入れられる体験を数多く経験させ、自分がかげがえのない存在であると感じ取らせることを大切にしています。そのことが、自信となって行動力につながり、自分の進路や夢を切り拓いていく原動力となっていくと考えます。

ご家庭でも3つのことを話題にいただければ幸いです。

◇ 平和集会で命の尊さを学びました！！



7月3日以降に熊本県を中心に九州や中部地方などで発生した豪雨もやっと収まり、やっと夏らしくなってきた7月30日に平和集会がありました。各学年で平和について学び、思ったことや考えたことをスローガンにまとめて発表したり、6年生が総合的な学習の時間に太平洋戦争についてまとめて紹介したりしました。

平和学習で学んだ命の尊さや人権を守ることの大切さを心に刻み、みんなでいじめの心や差別の心をなくし、思いやりの心を大きく育ててほしいと思います。平和集会で感じたことや考えたことを忘れずに日々の生活に生かしてほしいと思います。

各学年のスローガン

- 1年生 ともだちにやさしくして みんなでなかよくたすけあおう
- 2年生 さべつをせず 思いやりいっぱい 一人一人を大切にします
- 3年生 いじめやさべつをなくそう
 思いやりの心をつくろう
- 4年生 さべつをせず 自分がされていやなことはしない
 えがおでなかよくすごすために 助け合いゆずり合う
- 5年生 世界中の人や友達と仲良く 平和な世界をつくろう
- 6年生 戦争のおそろしさや平和のたいせつさを未来に伝えよう
 平和な世の中にするために自分にできることを考え行動できるようになる



◇ 夏休み中の授業も元気にがんばりました！！



コロナウイルスに係る臨時休校による授業欠課を補填するために7月は7日間、8月は6日間、授業を行いました。7月は雨が多く気温が上昇しなかったこと、8月は猛暑が何日かはありましたが準備していた寒冷紗や市からいただいた大型扇風機、給水タイム時の塩タブレット等のおかげで、熱中症や具合が悪くなった児童もおらず、授業を受けることができました。